二月例会報告

2月例会が2月10日に東和新江例会場にて行われました。会員開発部会による講師例会で、講師はマツダ神人材開発部部長の松本育夫氏でした。

岡田昭和、部課長挨拶、阿部会員開発部長による総旨説明に続き講演が始まりました。タイトルは『人生へのチャレンジ』です。始めの内は淡々とした調子で進んでいた講演も徐々に熱を帯びて行き、約1時間の講演はアッという間に過ぎてしまいました。人生への取り組みについての講演で、一、気力・活力、二、漠然として生きないで具体的な目標を持つ、三、目標を実現する行動力。これらの点が大事であるというものでした。結果を信じて行動する事が求められるのだと思います。他にも『雑談秋雨』等とヒントになる言葉がたくさん聞かれ、とても有意義な講師例会でした。

「ゴルフ ワンポイントアドバイス」

横浦忠実

最冬時のバンカーに伏兵あり!! 高い土手下にあるバンカーは、雨や雪が降った後、水溜がバンカーの縁に落ち込んで霜柱を形成する。砂でとう持ちあげて、見た目は何等異常は感じられない。下は五糎から十糎の霜柱である。ショットをしても手答えは無くボールは五十糎位しか移動しない。サンドウェッジは固い砂底に当ってソールが滑り、やわらかい砂の上のボールを砂の爆発と共に脱出させるのである。霜柱の有無を確かめるためには、ボールの至近距離を足でそれとなく踏んでみる。ザクッと落ちて霜柱はくずれる。霜柱は、もちろんウォーターハザードの適用でバンカー内にラッグピンに近づかない所を選びドロップすることができる。これを知らないと損ですよ!!

八王子で三行程をした経験より。

去日家内と練習場へ行った。私のゴルフ歴は18年家内は5年。家内がもう5年もやっているのにうまくならないという。

「お待さん（家内のこと）5年のうちどれだけ練習したら年数じゃないよ練習の時間だよ。」

「あっそ」

「お待さんアドレスの時先にクラブのフェイスを打つ方向に合わせてスタンスを取ってる?」

「なによ、お父さんが一番初めにそう教えたじゃん、やってるよ」

「そうか、今日分はやっていなかったよ。そんなもんだよな。お待さん大きいお尻が下へ沈まなくなったね。軽くなったのかな!」

「バカ言ってんじゃないよ。右尻がふんばれないから重心を真中より少し下に置いたのよ」

「へー。前よりかっこ良くなったよ」

「ありがと。本に70%の力って書いてあったよ。それでもコー

開店案内『おても館』

昨年の11月に安中特別会員が立川の北口に『おても館』という名のお好み焼・もんじゃ焼のお店を開店しました。すでに御存知の方も多いと思いますが、御紹介させて頂きます。

店内はかなり広く近入江は後に入れそうな大きさです。もんじゃは東京下町の食べ物らしいですが、テレビ等の影響か最近は方々にお店もできて、若者の人気も高いようです。ここ、『おても館』も連日、大勢のお客様で賑っています。コースで注文すると、サラダ、もんじゃ焼、鉄板焼、お好み焼、やきそばとフルコースが味わえもう大満足出来ること請合いなしです。味良し、値段良し、サービス良しの三拍子揃った『おても館』、皆様も是非一度いかれてみてはいかがですか。

立川北口伊勢丹前
カメヤビル7階
営業時間　昼11から深11
年中無休

電話〇四二五ー二七ー三八〇〇
ランチメニューもあるそうです

新規オープン報告

高瀬会員の奥様が小作駅近くに「ブックマート　セピア」という古本の店を開店されました。在庫数四万冊以上というかなりの規模の店で、美しい奥様とお嫁様2とで対応されます。2月4日にオープンし、年中無休、午前十一時より午後十一時迄営業と、お二人丈夫な意気込みでした。文庫本、専門書、マンガその他あらゆるジャンルの本をそろえており、学生、サラリーマン、主婦などかなりのにぎわいでした。近くに行かれた時はぜひ立ち寄ってみて下さい。

◎広報室からのおねがい

「ブックマート・セピア」開店にあたり、会員の皆様のお宅で眠っている本を寄贈して戴けませんか？　数がまとまり次第、広報室で責任をもってブックマートへお届け致します。つきましては、3月末日までに、不要となっている本を事務局までお持ち下さいますように、御協力の程、宜しくお願い致します。

教授助っ人

（インスタント食品を美味しく食べるには？）

○インスタント焼きそばを作る時、フライパンの水分が減ってきたら少量のバターを入れると焦げつかず、味もバッグン！

○インスタントラーメンの火を止める30秒前に、焼き肉のタレを2滴落とすと、味にグンとコクがでます。

○インスタントラーメンは油臭さが気になりますが、たっぷりの湯でサッとゆでた後、

「今も昔も変わらないゴルフ」

広報室　大井田あゆみ

今から二七年前の記事を読んで、昨年七月からゴルフを始め、八月にコースデビューをした私にも、共感できることがたくさんありました。

初めて冬にゴルフをした時、私の知らないゴルフに出会いました。グリーンは凍っていて、少しの力でも遠くへボールが転がってしまうため、力加減がわからなくなり、穂積先輩の記事にあったように、バンカーには霜が降り、ソールが汚れて思わぬ方向にボールが飛んでいってしまったり、まさに伏兵がたくさん潜んでいました。

また、不思議なことにその日の一ホール目でバンカーに入れてしまうと、その日はバンカーにはまってしまう事が多く、私はバンカーにとても苦手意識があります。

二七年前も今と同じように、バンカーで悩み、試行錯誤する穂積先輩の姿を感じることができました。私もゴルフだけではなく、仕事や人としても悩み、試行錯誤しながら成長していけるよう、頑張っていきたいと思います。

かわら版解説「二月例会報告」

広報室　室員　金子　広

当時の講演タイトルは「人生へのチャレンジ」かわら版に内容が掲載されているので、あえて今回はこの例会講師である、松本育夫氏のその後を追ってみた。例会の十年前、出張先でガス爆発事故に巻き込まれ、両手両足の骨折と、四〇%の火傷を負ったが、九死に一生を得て奇跡的に助かった、という過去を持っていた。例会後の二年後にマツダ株式会社の人材開発部部長を最後に退社。

同年の八月にJリーグ・株式会社京都パープルサンガ・チーム統括ゼネラルマネージャーを務め、九九年四月にはJリーグ・川崎フロンターレの監督に就任した。当時J2優勝へ導き、さらにJ1への昇格を果たし、二〇〇〇年の一月、富士通川崎スポーツ・マネジメント株式会社代表取締役に就任している。〇四年から〇六年までサガン鳥栖の監督を経て二〇一一年までサガン鳥栖専務執行役員ゼネラルマネージャーを務めた。例会後にこのような経歴を辿る、すごい方を講師に迎え、実のある例会であっただろうと経歴を追ったことで読み解けた。